

保育総合研究会 臨時

News

VOL.10 2020.9.25

発行人 保育総合研究会 会長 梶沢 幸苗
発行元 事務局長 社会福祉法人 東明会
飯沼こども園 理事長 東ヶ崎静仁
〒311-3153 茨城県東茨城郡茨城町上飯沼 1276-1
029-292-6868 Fax 029-292-3831
E-mail iinuma-n@ans.co.jp

全国会員数 97名

今後の予定 1) 第67・68回 オンラインで定例会決定→会員限定

参加者は菊地さんに申し込んでくださいね、参加費は全て無料。全て申込書必要です。資料はメールで全員に送ります。
ZOOM入室のURL等については定例会近くになってからメールでお知らせしたいと思います。

◆第67回定例会 日時 **令和2年10月20日(火)** 13:00-15:00

講師: **厚生労働省社会・援護局福祉基盤課企画調整専門官 初鹿 知香様**

講演名「社会福祉連携推進法人を考える」

◆第68回定例会 日時 **令和2年12月1日(火)** 13:00-15:00

講師: **神戸大学・大学院准教授 北野幸子先生**

講演名「評価を活用した保育の質の維持・向上」

今後の予定 2) 今後の7プロポジション まとめの zoom 会議

会議のまとめ→各委員会の関係者の方はご参加ください。

→各委員会事務局長様方、委員にあらかじめ資料を送るとともに、

ZOOM 入室の URL 等のご案内を宜しくお願いします。

第 2 委員会 日時 令和 2 年 9 月 28 日(月) 17:00-18:30

第 3 委員会 日時 令和 2 年 10 月 1 日(木) 17:00-18:30

第 1 委員会 日時 令和 2 年 10 月 5 日(月) 10:00-11:30 坂崎一部しか参加できません

提言のまとめ→各委員長・事務局長他関係者はどなたでもご参加ください。

委員長会議 日時 令和 2 年 10 月 8 日(木) 10:00-12:00

※尚、現在仮原稿は A4 で 150 頁ほどになっています。キヤー大変だー※

検討委員会→三役・事務局 桜沢・森田・田和・東ヶ崎・菊池・坂崎 伊東・

※各委員会アドバイザー各位→坂崎より その他 例えば渡辺、遠藤浩正、田口も土山各先生等にも
依頼する予定です。 検討委員会 日時 令和 2 年 11 月に計画しています。日時未定

※坂崎よりアドバイザーその他の方に文章を送付してご意見を賜ります。

今後の予定 3)保総研 第5回 三役・事務局 zoom 会議

日時 令和2年10月15日(木) 13:00-13:45 **出席** 梶沢・森田・田和・伊東・東ヶ崎・菊池・坂崎

報告 7プロポジションの報告と今後の進め方について
今後の定例会について(坂崎説明)

議案 1.上記検討委員会 令和2年11月 日() 13:00-16:00

1.年次大会について 集合研修方式 日時 令和3年2月下旬 同日に役員会開催予定

◆7プロポジション全員説明会 令和2年度年次大会にて発表 2時間程度

2.令和3年度以降役員改選の基本的な考え方

3.20周年記念誌を作成について(遠藤浩平編集長)

☆初めてのオンライン役員会を行います。

今後の予定 4)保総研 役員 zoom 会議を開催します

日時 令和2年10月15日(木) 14:00-15:30 **役員の方全員参加ですよ**

報告・議案とも上記と同様

報告 1) 第 6 6 回 初オンラインで定例会開催⇒会員 50 名の参加でした

◆第 6 6 回定例会 日時 令和 2 年 9 月 23 日(水) 13:00-15:00

報告:花沢会長 令和 2 年度保総研の活動状況 7 プロポジション等の説明

講師:坂崎副会長 講演名「喫緊の保育の課題を考える」⇒喫緊の話は下記の通りです

喫緊の問題に対してたくさんの人をお願いしてもらったら有難いです⇒宜しく頼みます

1. 令和2年度人事院勧告引き下げについて(子どもや保育士等の保育環境の維持向上を図る)

保育の「質の向上」のためにも、保育現場の喫緊の課題である「人材確保」が必要であり、職員の処遇改善が不可欠です。今回の人事院による公務員の給与の引き下げの勧告がなされています。このままでは、保育人材の確保・定着がままならないばかりか、保育経営の圧迫、子どもの保育環境悪化など保育崩壊が起こりうる可能性もあります。現状では保育士と全産業の労働者の平均賃金にいまだに差があることや職員の平均勤続年数が年々伸びている状況にも鑑み、社会的使命と役割を發揮するためにも更なる処遇改善や環境改善などを強く要望が必要である。

2. 令和3年度保育予算について(公定価格のさらなる充実を図る)

子ども・子育て支援新制度 5 年後の見直しにおいて、保育を確保する観点から、公定価格の算定は積み上げ方式を堅持することとなりましたが、現行の公定価格は低い水準であることから、公定価格のさらなる充実を引き続き強く要望したい。特にコロナ渦での保育には、現行以上の予算確保が必須であり、安全で安心な保育環境整備は最重要課題と思われます。なお平成 32 年度(令和2年度)までに検討し結論を得るとされている社会福祉施設職員等退職手当共済制度については、今後も堅持・継続することを要望する。

3. 新型コロナウイルス感染症等の対応について(感染対策を継続して実施するよう強く望む)

世界中がコロナウイルス感染で苦慮している中、乳幼児期の施設が正式に保育を行ったのは日本のみでした。とりわけ保育所は 99%が開園し、特に認定こども園も含んだ社会福祉法人園は子育て支援として、又経済活動の基盤として社会のインフラに大きく貢献したと自負しています。

(2020.6/12 天皇皇后両陛下に大谷理事長がご進講なされ感謝の意を述べられた)しかし、今後の経済活動の中で、保育の需要はますます高まることは必須であると同時に、その保育環境の危険性も同様に高まってきます。その対策のためには、前述した 1.2 の要望の実現は必須です。是非ともコロナ期の保育者のモチベーションが下がらない配慮とともに、新型コロナウイルス感染症やその他感染症等の発生時における保育の取り扱いについて、その対応を検証し、臨時休園のガイドライン等関連通知の整備などを図ることや、感染症の状況にも応じ、感染防止用品や保護者への相談のための ICT 機器の整備、今後の検査やワクチン接種などの保育者への配慮が必要です。

最後に、保育の質・機能の向上のためには、子ども・子育て支援新制度制定時に確認された「量的拡充」・「質の向上」を実現するため、子ども・子育て会議での共通理解でもある、我が国の新制度の安定的定着のために、消費税以外の 0.3 兆円超を含む総額 1 兆円超の財源を早期にかつ恒久的に確保することを要望します。

※このほかに地域区分の問題については、今後の大きな課題として残った。

※定例会後、渡辺、土山、伊東等の日保支部長や森田全保副会長、遠藤浩正福島政治連盟会長などを中心にして、それぞれの立場で子どもや保育士のために保育環境が悪くならないように活動していこうという話し合いがなされました。立場を超えて何卒宜しくお願い申し上げます。

報告 2) ペセラの年次大会がコロナによって変更になりました(北野先生情報です)

2021 令和 3 年度 ニュージーランド 2022 令和 4 年度 香港

2023 令和 5 年度 インドネシア 2024 令和 6 年度 日本・東京の予定⇒北野先生に恩返ししましょう

今回の情報提供 ☆2020年 令和2年度定例会等 10月事業予定

◆第67回定例会 日時 令和2年10月20日(火) 13:00-15:00

講師: 厚生労働省社会・援護局福祉基盤課企画調整専門官 初鹿 知香様 講演名「社会福祉法人連携推進法人を考える」

◆第68回定例会 日時 令和2年12月1日(火) 13:00-15:00

講師: 神戸大学・大学院准教授 北野幸子先生 講演名「評価を活用した保育の質の維持・向上」

P1 67.68zoom オンライン定例会のご案内

P2 7プロポジション zoom 会議予定 P3 三役会&役員会 zoom 会議予定

P4-5 66回定例会報告 喫緊の問題について

P7 『保総研の歴史 No.10』 今さらながら どうして

横浜の田口さんと 静岡の土山さんという人(ここは坂崎の勝手な思いを書いています。ご勘弁を)

P8 編集誤記ご意見お待ちしております&

当会 HP アドレス http://hosouken.dip.jp/hskblog/_trashed/

◆次回No.11を10/17広報配布する予定です。役員会による重要な決定事項を報告します。

保総研の立ち上げの時、誰を会長にして誰を事務局長にするのか(桜沢・東ヶ崎のゴールデンコンビ)という課題とともに、何の部会を立ち上げて研究を誰にしてもらおうかというのも大きな課題だった。保育内容、子育て支援、人材育成の3部会を立ち上げ、保育内容は大阪の雄森田を、子育て支援は越後の怪物伊東を、そして人材はダンディーな横浜の田口をお願いすることにした。森田・

Japan

Association of 連合(すること)

Multidisciplinary Research for

多くの学問領域にわたる 研究

Early Childhood Care and

Education

伊東とも忙しくなったことを理由に副会長をしてもらったのに、田口には、ずっと委員長のままだった。実際には副会長以上の活躍だったと思う。クールな感じの田口だが、本当はとても情に厚く男気のある奴なんだ。私は親父が大好きだったが、親父が死んだときのことをいつも思い出すことが2つあるんだ。一つはまだ生きてた橋本龍太郎が花輪をくれて、葬儀会場の人が右往左往したこと。もう一つは、誰よりも先に葬儀会場に駆けつけてくれたのが田口だった。嬉しかった。りき、覚えておいてくれよ。田口の歩いてきた保育哲学は私たちの何倍も先を歩んでいる。当分の間、今後の為にみんなの指導に当たってくれると有難い。さて土山のことも是非書きたい。才人という言葉この人のためにあるんじゃないかと思う。全く知らなかった土山と突然研修で4日間ホテルの同部屋になった。当然な事ながら、ほとんどホテルに帰らぬ私に土山は当然の如く疑問を抱く。帰り際、今度東京で勉強会があるからと誘い、百瀬と二人でくどいて保総研に入ってもらった。「空とヨット」で登場した土山は彗星の如く現れ、あっという間に司会者の座を受け持ってしまった。このような土山だから、地元三島でも静岡県内でも人気者で会長をはじめ、多くの役職を歴任している。保育にも制度にも明るい。そう、あの明るさはなんだろうといつも思っていた。以外に謎はすぐに解けた。私のような東北人にはわからないところに住んでるんだ。2月に菜の花が咲いてるとか、バス遠足で富士山に行って雪を見るとか。ちなみに青森は5月の末に菜の花が咲き、吹雪に4か月間おおわれている。ともかくも今後の土山の保総研での活躍を更に期待したい。

編集誤記

思いが未来を変える。保総研が未来を作る。(選挙のキャッチフレーズみたいだな)

コロナ渦の中で、保総研も Zoom によるオンライン定例会が始まり 50 名の参加と盛況でした。今後、厚労省社会援護局や北野先生の講演も行われます。次回の役員会の大きな話題は、ほぼ 20 年ぶり以上の役員改選及び部会の考え方です。今のところ、基本的には、役員会を経てから東ヶ崎大明神のご加護の下、人事案件(役員推薦)は権沢会長一任したいと考えています。よって年内のいずれかの時期に権沢会長から組閣に関する電話が直接本人に舞い込み、その作業の後、年明け 2 月の年次大会役員会で全容が明らかになり、来年度の総会を迎えるという事になろうかと思えます。コロナに苦戦している毎日ながら、来る新体制でも次を見据え進めていけたらと思えます。Zoom 研修で会員の多くの皆様にお会いできることを楽しみにしています。ご期待ください。当会 HP アドレス http://hosouken.dip.jp/hskblog/_trashed/

この広報に対する内容については下記に電話等でご連絡を頂けると有難いです。

担当：〒039-4222 青森県下北郡東通村砂子又大字沢内 9-35

保育総合研究会 副会長 坂崎隆浩 携帯：090-6252-3699

メール：kodomoen.sakazaki@angel.ocn.ne.jp

(こども園ひがしどおり FAX: 0175-31-0203)